

注3

大学番号：国043

[平成25年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

静岡大学大学院工学研究科電子物質科学専攻
化学バイオ工学専攻
数理システム工学専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 静岡大学
平成26年5月1日現在

作成担当者				
担当部局（課）名	総務部総務課			
職名・氏名	総務課長	サ 佐	トウ 藤	タダ 忠 ヒロ 弘
電話番号	054-238-4404			
（夜間）	054-238-4404			
F A X	054-237-0089			
e-mail	otsato1@ipc.shizuoka.ac.jp			

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	……	1
2	授業科目の概要	……	6
	工学研究科電子物質科学専攻	……	6
	工学研究科化学バイオ工学専攻	……	9
	工学研究科数理システム工学専攻	……	12
3	施設・設備の整備状況，経費	……	15
4	既設大学等の状況	……	16
5	教員組織の状況	……	20
6	留意事項に対する履行状況等	……	23
7	その他全般的事項	……	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

(2) 大学名

静岡大学

(3) 大学の位置

〒432-8561

静岡県浜松市中区城北3丁目5番1号

[〒422-8529
静岡県静岡市駿河区大谷836番地]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大学院工学研究科 電子物質科学専攻 修士(工学)	2年	52人	104人	基礎となる学部等 工学部
大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻 修士(工学)	2	49	98	
大学院工学研究科 数理システム工学専攻 修士(工学)	2	24	48	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

(大学院工学研究科電子物質科学専攻)

報告年度 区分	平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	52 (-) [-]		52 (-) [-]		1.02倍	
志願者数	51 (-) [1]	2 (-) [1]	45 (-) [1]			
受験者数	51 (-) [1]	2 (-) [1]	45 (-) [1]			
合格者数	57 (-) [0]	1 (-) [1]	53 (-) [1]			
B 入学者数	55 (-) [0]	1 (-) [1]	51 (-) [1]			
入学定員超過率 B/A	1.07		0.98			

(大学院工学研究科化学バイオ工学専攻)

区分	報告年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 49		人 人 49				1.12倍	
	(-)		(-)					
	[-]		[-]					
志願者数	65	2	62					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[1]	[1]	[2]	[]				
受験者数	63	2	61					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[1]	[1]	[2]	[]				
合格者数	54	2	57					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[0]	[1]	[1]	[]				
B 入学者数	54	2	54					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[0]	[1]	[0]	[]				
入学定員超過率 B/A	1.14		1.10					

(大学院工学研究科数理システム工学専攻)

区分	報告年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 24		人 人 24				1.22倍	
	(-)		(-)					
	[-]		[-]					
志願者数	35	0	33					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[-]	[-]	[1]	[]				
受験者数	34	0	32					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[-]	[-]	[1]	[]				
合格者数	32	0	27					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[-]	[-]	[0]	[]				
B 入学者数	32	0	27					
	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[-]	[-]	[0]	[]				
入学定員超過率 B/A	1.33		1.12					

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

(大学院工学研究科電子物質科学専攻)

学 年	平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 55	[1] 1	[1] 51	[1] 1	平成26年度その他の学期1年次在学者数は、平成25年度その他の学期入学の在学者数である。
2年次	/		[-] 55	[]	
計	[1] 56		[2] 107		

(大学院工学研究科化学バイオ工学専攻)

学 年	平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 54	[1] 2	[-] 54	[1] 2	平成26年度その他の学期1年次在学者数は、平成25年度その他の学期入学の在学者数である。
2年次	/		[-] 53	[]	
計	[1] 56		[1] 109		

(大学院工学研究科数理システム工学専攻)

学 年	平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 32	[-] 0	[-] 27	[-] 0	
2年次	/		[-] 32	[]	
計	[-] 32		[-] 59		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

(工学研究科電子物質科学専攻)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成25年度入学者	56人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度入学者	51人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
合計	107人	0人					0%

(工学研究科化学バイオ工学専攻)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成25年度入学者	56人	1人	平成25年度	1人	0人	就職	1.8%
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度入学者	54人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
合計	110人	1人					0.9%

(工学研究科数理システム工学専攻)

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成25年度入学者	32人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度入学者	27人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
合計	59人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜大学院工学研究科 電子物質科学専攻＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コア専門科目	半導体電子物性論	1・2後		2			1					兼 2
	集積電子回路工学特論 ※英語対応	1・2後		2		1						
	光デバイス特論	1・2前		2		1	1					
	エネルギーデバイス物性論	1・2前		2		2						
	エネルギー材料特論	1・2前		2		2						
	高分子材料特論	1・2前		2		1						
	無機材料特論	1・2前		2		1						
	光機能材料特論	1・2前		2		1	1					
コース専門科目	プラズマエレクトロニクス	1・2後		2		1	1					兼 1 2名で隔年担当のため(25) 隔年担当方式を見直したため(26) 担当教員教授昇任のため(26) 兼 1 兼 1 非常勤講師の都合により期別を変更(25)
	結晶工学	1・2後		2		1	1					
	電子ディスプレイ工学	1・2前		2		2						
	材料評価特論	1・2後		2		1	2					
	量子効果デバイス	1・2前		2		1	2					
	波動光学	1・2後		2		1						
	固体物性工学特論 ※英語対応	1・2後		2			1					
	量子電子物性	1・2前		2			1					
	ナノ構造物の電気伝導論	1・2前		2			1					
	固体表面化学特論	1・2前		2		1						
	材料物性特論	1・2後		2		1	1					
	技術者倫理特論	1・2前 1・2後		2								
	インターンシップ	1前・後		2		1						
エネルギー化学 ※英語対応	1・2前		2			2						
ナノマテリアル ※英語対応	1・2後		2		1							
研究科共通科目	応用数学概論	1・2前		2								兼 1
	応用数学特論	1・2前		2								兼 1
	量子工学概論	1・2前		2		1						兼 1
	量子工学特論	1・2前		2		1						兼 1
	工学基礎化学特論Ⅰ	1・2前		2								兼 1
	工学基礎化学特論Ⅱ	1・2後		2								兼 1
	MOTベンチャー戦略論Ⅰ	1・2前		2								兼 1
	MOTベンチャー戦略論Ⅱ	1・2後		2								兼 1
	情報システム論	1・2前		2								兼 1
	情報セキュリティ論	1・2後		2								兼 2
科学技術政策特論	1・2後		2								兼 1	
大学院総合科目	電子物質科学特別講義第一	1・2前		1								兼 1 集中
	電子物質科学特別講義第二	1・2後		1								兼 1 集中
	電子物質科学セミナー第一	1通	2			22 21	15		6			担当教員昇任人事等による変更(26)
	電子物質科学セミナー第二	2通	2			22 21	15		6			担当教員昇任人事等による変更(26)
	電子物質科学研究第一	1通	4			22 21	15		6			担当教員昇任人事等による変更(26)
電子物質科学研究第二	2通	4			22 21	15		6			担当教員昇任人事等による変更(26)	

(注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正

し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 36	科目 0	科目 40	科目 4	科目 36	科目 0	科目 40	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コア専門科目	有機化学特論	1前		2		1	1					新任教授の担当へ変更(25) 担当教員の見直しのため(26) 准教授が教授へ昇任のため(25) 担当教員の見直しのため(26)
	無機化学特論	1後		2		1	1					
	物理化学特論	1後		2		2						
	化学工学特論	1後		2			2					
	インターンシップ	1前・後		2		1						
	生体機能分子特論	1前		2		1	4 1					
	生体高分子材料学特論	1前		2		1						
	微生物・酵素工学特論	1前		2		1	4					
	生物化学工学特論	1前		2		1	1					
	バイオメテック工学	1後		2		4 1	1					
コース専門科目	応用化学特論	1後		2			1	1				教授が研究科長就任のため(25) 新任教員を担当に追加(26)
	環境工学特論 ※英語対応	1後		2		4	1					
	生物応用化学特論 ※英語対応	1後		2			2 4					
	生物物理化学特論	1後		2			1					
	バイオ光工学特論	1後		2			1					
	生物資源利用特論	1後		2		1	1					
	生体医用情報工学特論	1後		2		1	1					
研究科共通科目	応用数学概論	1・2前		2							兼1	
	応用数学特論	1・2前		2							兼1	
	量子工学概論	1・2前		2							兼1	
	量子工学特論	1・2前		2							兼1	
	工学基礎化学特論Ⅰ	1・2前		2		1						
	工学基礎化学特論Ⅱ	1・2後		2		1						
	MOIベンチャー戦略論Ⅰ	1・2前		2							兼1	
	MOIベンチャー戦略論Ⅱ	1・2後		2							兼1	
	情報システム論	1・2前		2							兼1	
	情報セキュリティ論	1・2後		2							兼2	
	科学技術政策特論	1・2後		2							兼1	
大学院総合科目	技術者倫理特論	1前		2							兼1	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(26)
	特別セミナーⅠ	1通	2			13 14	15 17	1	6			
	特別セミナーⅡ	2通	2			13 14	15 17	1	6			
	化学バイオ工学研究Ⅰ	1通	4			13 14	15 17	1	6			
	化学バイオ工学研究Ⅱ	2通	4			13 14	15 17	1	6			

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	29	0	33	4	29	0	33	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<大学院工学研究科 数理システム工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア専門科目	応用システム工学演習	1・2後	1			1	4		1		助教転任のため及び教育内容の充実を図るため准教授4名を追加(25)
	環境計画	1・2前		2		1					
	動的システム論	1・2前		2		1	3				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
	分散システム ※英語対応	1・2後		2			1				
	集合・論理・位相	1・2後		2		1	6				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
専攻専門科目	最適化理論 ※英語対応	1・2後		2		1					
	離散システム論	1・2後		2			1				
	自然の数理論	1・2前		2		1	3				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
	環境移動現象論	1・2後		2		1	1				新任教員を担当に追加(26)
	リスクマネジメント	1・2前		2		1	1				集中 担当教員が教授昇任のため(26)
	非線形モデリング論	1・2後		2		1	3				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
	音声情報処理論	1・2前		2			1		1		助教転任のため(25)
	数値計算アルゴリズム論	1・2後		2		1			1		教授転任のため(25)
	線形代数学続論Ⅰ	1・2前		2		2	6				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
	線形代数学続論Ⅱ	1・2後		2		2	6				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
	微分方程式Ⅰ	1・2前		2		2	6				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
	微分方程式Ⅱ ※英語対応	1・2後		2			1				
	数学解析Ⅰ	1・2前		2		1	6				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
	数学解析Ⅱ	1・2後		2		2	6				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)
応用解析Ⅰ	1・2前		2		1	6				設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)	
応用解析Ⅱ	1・2後		2		1	6				担当教員の見直しのため(26) 履修希望者無しのため未開講(25)	
インターンシップ	1・2前・後		2		1					設置報告書に担当可能教員数を記載していたため(25)	
研究科共通科目	応用数学概論	1・2前		2		1	1				担当教員の見直しのため(25)
	応用数学特論	1・2前		2		1	1				担当教員の見直しのため(25)
	量子工学概論	1・2前		2						兼1	
	量子工学特論	1・2前		2						兼1	
	工学基礎化学特論Ⅰ	1・2前		2						兼1	
	工学基礎化学特論Ⅱ	1・2後		2						兼1	
	MOTベンチャー戦略論Ⅰ	1・2前		2						兼1	
	MOTベンチャー戦略論Ⅱ	1・2後		2						兼1	
	情報システム論	1・2前		2						兼1	
	情報セキュリティ論	1・2後		2						兼2	
科学技術政策特論	1・2後		2						兼1		
大学院総合科目	数理システム工学セミナー第一	1通	2			7	11		2	1	担当教員の見直しのため(26)
	数理システム工学セミナー第二	2通	2			7	11		2	1	担当教員の見直しのため(26)
	数理システム工学研究第一	1通	4			7	11		1	1	担当教員の見直しのため(26)
	数理システム工学研究第二	2通	4			7	11		1	1	担当教員の見直しのため(26)

(注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成26年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	32	0	37	5	32	0	37	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		m ²	m ²	m ²	m ²		
		(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数			
				室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	教員1人当り研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	取定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部		470	3年次 5	1,900		1.02			
社会学科	4	75	—	300	学士 (社会学)	1.05	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	平成24年度入学生より、人文社会学部から人文社会科学部へ学部名称変更
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学)	1.07	平成 4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	354	学士 (法学)	1.03	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	〃	0.94	平成 8年度	〃	
経済学科	4	170	—	690	学士 (経済学)	1.04	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	130	〃	0.86	平成 8年度	〃	
教育学部		400		1,600		1.02			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	35	—	140	〃	1.02	〃	〃	
総合科学教育課程	4	30	—	120	〃	1.06	〃	〃	
芸術文化課程	4	35	—	140	〃	1.02	〃	〃	
情報学部		200		800		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.03	平成 8年度	浜松市中区城北3-5-1	
情報社会学科	4	100	—	400	〃	1.03	〃	〃	
理学部		215		860		1.03			
数学科	4	35	—	140	学士 (理学)	1.07	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	45	—	180	〃	1.02	〃	〃	
化学科	4	45	—	180	〃	1.03	〃	〃	
生物科学科	4	45	—	180	〃	1.02	平成18年度	〃	
地球科学科	4	45	—	180	〃	1.01	〃	〃	

工学部		535		2,140		1.03			
機械工学科	4	165	—	630	学士 (工学)	1.03	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	105	—	510	〃	1.03	〃	〃	
電子物質科学科	4	110	—	220	〃	1.05	平成25年度	〃	
化学バイオ工学科	4	105	—	210	〃	1.00	〃	〃	
数理システム工学科	4	50	—	100	〃	0.97	〃	〃	
物質工学科	4	—	—	—	〃		平成7年度	〃	平成25年度より 学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	〃		〃	〃	平成25年度より 学生募集停止
農学部		150	3年次 10	620		1.04			
共生バイオサイエンス学科	4	60	—	240	学士 (農学)	1.01	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生物化学科	4	50	—	200	〃	1.06	平成元年度	〃	
環境森林科学科	4	40	—	160	〃	1.05	平成18年度	〃	
大学院人文社会科学研究科		36		72		0.95			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間 科学)	1.09	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	1.15	平成9年度	〃	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.73	平成17年度	〃	
大学院教育学研究科		76		156		1.16			
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.99	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	〃	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.00	平成21年度	〃	
大学院情報学研究科		60		120		0.89			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	0.89	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	
大学院理学研究科		70		140		1.06			
数学専攻	2	12	—	24	修士 (理学)	0.87	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学専攻	2	14	—	28	〃	0.74	〃	〃	

化学専攻	2	18	—	36	〃	1.61	〃	〃	
生物科学専攻	2	13	—	26	〃	1.18	〃	〃	
地球科学専攻	2	13	—	26	〃	0.69	〃	〃	
大学院工学研究科		262		524		1.12			
機械工学専攻	2	78	—	156	修士 (工学)	1.18	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学専攻	2	49	—	98	〃	1.15	〃	〃	
電子物質科学専攻	2	52	—	104	〃	1.02	平成25年度	〃	
化学バイオ工学専攻	2	49	—	98	〃	1.12	〃	〃	
数理システム工学専攻	2	24	—	48	〃	1.22	〃	〃	
事業開発マネジメント専攻	2	10	—	20	〃	0.70	平成18年度	〃	
物質工学専攻	2	—	—	—	〃	〃	〃	〃	平成25年度より 学生募集停止
システム工学専攻	2	—	—	—	〃	〃	〃	〃	平成25年度より 学生募集停止
大学院農学研究科		87		174		0.89			
共生バイオサイエンス専攻	2	34	—	68	修士 (農学)	0.76	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生物化学専攻	2	35	—	70	〃	1.02	平成5年度	〃	
環境森林科学専攻	2	18	—	36	〃	0.88	平成20年度	〃	
大学院自然科学系教育部		50		150		0.91			
ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39		0.66	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、 理学、工 学、情報 学又は農 学)	0.44	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30		1.30	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21		1.28	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24		1.20	〃	〃	
大学院法務研究科		20		60		0.31			
法務専攻	3	20	—	60	法務博士 (専門職)	0.31	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「-」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学においては学科単位，大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見個いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前個い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

<大学院工学研究科 電子物質科学専攻>

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
42	0	42	43	0	43	65	0
(42)	(0)	(42)	[1]	[-]	[1]	歳	名

<大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻>

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
37	0	37	35	0	35	65	0
(31)	(0)	(31)	[Δ2]	[-]	[Δ2]	歳	名

<大学院工学研究科 数理システム工学専攻>

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
22	0	22	19	2	21	65	0
(20)	(1)	(21)	[Δ3]	[2]	[Δ1]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況, 方法等

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <ul style="list-style-type: none">a 公表（予定）時期b 公表方法 <p>③ 認証評価を受ける計画</p>

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

<大学院工学研究科 電子物質科学専攻>

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有 ・ 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(2014 年 6 月 2 日)

<大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻>

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有 ・ 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(2014 年 6 月 2 日)

<大学院工学研究科 数理システム工学専攻>

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有 ・ 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(2014 年 6 月 2 日)